

あなたに薦める『この一冊』6月

『マイメロディの『論語』 心豊かに
生きるための言葉』
朝日文庫編集部【編】 朝日新聞出版

社会科教諭 土屋 莞志
高校 3年2組 副担任



あなたは何のために学校に毎日来ていますか？ 勉強ももちろん大切ですが、それ以上に集団生活を通して、「人間力」を高めることの方が何倍も大切だと思います。「当たり前」のことも当たり前前に！ 挨拶ができる、授業中はきちんと聞く、このような人としての根幹を育成する場所であるべきです。

「論語」というのは、約2500年前の古代中国で孔子が弟子に語った言葉を集めたものです。

その中で重視されているのは、「仁＝思いやり」の気持ちです。皆さんに仁はありますか？

人類永遠の課題ですよ……

論語というと難しく感じますが、この本は可愛いイラストも多く、小学生でも理解できるように簡単に説明してくれています。あまり本を読まない人でも負担なく読むことができます。また、1冊660円とそう高価ではありません。

「論語」以外にも様々なシリーズがあります。

国語や倫理の教養以外に、自分自身の心を豊かに生きるために1度手に取ってみてください。絵本に近いような本ですが、きっと皆さんの心に響く1冊となるはずです。

マイメロディ豆知識

サンリオのキャラクターシリーズのひとつ。また、同シリーズのメインキャラクター。白いウサギがモチーフ。赤いずきんを被った女の子。1975年登場。同社のキャラクターシリーズでは「ハローキティ」に次ぐ人気を誇り、商品は海外でも展開されている。「おねがいマイメロディ」のタイトルでテレビアニメ化(2005年)されており、シリーズは4作を数える。キャラクター名の「マイメロディ」は通称で、正式名は「メロディ」。

出典：デジタル大辞泉プラス, JapanKnowledge Lib

と学ぶ？ キャラで学ぶ?? ゆるかわ！ 思想 & 哲学入門書

- ・ コウペンちゃんとおべんきょうする『幸福論』 富増章成【文】 KADOKAWA



コウペンちゃんといっしょに、アランの『幸福論』をたのしくおべんきょうしてみよう！ アランの言葉は、よるこびがいっぱいになるおまじないみたい！ 幸せが、いっぱいまっている本なんだよ～。

- ・ ネコと読む『方丈記』に学ぶ“人生を受けとめる力” 高寺あずま【文】 文響社

日本古典文学の名作、鴨長明『方丈記』の本質を、少女と猫の会話方式でわかりやすく語り直します。『方丈記』の本質とは何か。それはどんな出来事にも動じることのない“受け止める力”を描いているところです。古典文学の入口の役目を果たすとともに、現在の暮らしにも通じる視点を提示します。



- ・ たまには、やすんだら？：ナマケモノさんが教えてくれる 世界一かわいいマインドフルネス Ton Mak【著】 飛鳥新社



「ナマケモノさん」という可愛いキャラクターが海外で大ブーム中の脳の休息法「マインドフルネス」のやり方を、やさしく教えてくれる1冊。見ているだけでも癒される「ナマケモノさん」ですがわたしたちに話しかける言葉は、意外なほど、現代人の心の奥にグッと響くことばかりです。

★ 土屋 莞志 (ツチヤ カンジ)先生の紹介 ★

＊担当科目・クラス

社会b(中3年1～4組)

政治・経済(高2年7組)

地理B(高3年1・3組)

＊星座 → てんびん座

＊趣味 → 野球観戦にはよく行きます。小中学生の時はプレーヤーでした。

＊自分の中学・高校生活

中学生は準硬式野球部、高校時代は放送部でした。毎日授業は0限目から9限目までありました。毎日が受験勉強でした。

＊本校生の印象

元気！

＊感動した本 『永遠の0』 百田尚樹【著】 講談社文庫

＊読むことが望ましい本 『走れメロス』 太宰治【著】 KADOKAWA



- ・ てつがくフレンズ：女の子の姿になった哲学者たちの哲学学園 飲茶【著】 PHP研究所



謎の学園「フィロソフィー学園」。そこには独自の思想哲学をもった哲学者たちが少女化した『てつがくフレンズ』たちが 古今東西から集まっていた。『てつがくフレンズ』たちが繰り広げる漫画を楽しく読み進めるうちに 哲学者たちの思想の本質が分かってしまうかもしれない哲学コミック！

- ・ マンガで入門世界一ゆるい哲学：「人生の答えがわかる」かもしれない23賢人の教え マイケル・F.パットン、ケヴィン・キャノン【著】 ダイヤモンド社

ヘラクレイトス、ニーチェ、デカルト……あの偉大な哲学者が、飛び、跳ね、語る!? この世で一番おもしろくて、超ためになる最強の哲学入門書、誕生。西洋思想3000年がざっくりわかる！

私らなんか浮いてない？



考え次第だよヘラクレイトス！

編集後記：マイメロディの好きなことを知っていますか？ それは「ママといっしょにクッキーを焼く」こと。彼女がお菓子を作るときのように、ふんわり、ワクワクした気持ちで、この本を手にとってみてください。